

シアル・ラスカチャリティコンサート No.137

# 若き才能と、円熟の響き

広上 淳一



©Masaaki Tomitori

阪田 知樹



©Ayuset

木野 雅之



©明石一矢

## 出演

指揮:広上 淳一  
 コンサートマスター:木野 雅之  
 ソリスト(ピアノ):阪田 知樹  
 オーケストラ:ラスカ祝祭管弦楽団

## プログラム

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番「皇帝」  
 ビゼー:交響曲ハ長調

※曲目・曲順に変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。

ラスカチャリティコンサートは昨年まで新年に開催し、多くの市民の皆様にご来場いただきました。2025年より、開催時期を6月に移すと同時に、コンサート名もシアル・ラスカチャリティコンサートとして開催いたします。

湘南ステーションビルラスカは、2024年4月に横浜を中心とした駅ビル「シアル」を運営する横浜ステーションビルとひとつになりました。今回も昨年に引き続き、指揮者には日本を代表し世界的に活躍する広上淳一さん、そして、ソリストには数々の世界的なコンクールで最年少入賞やアジア人男性ピアニスト初優勝等の華麗な経歴を持つ阪田知樹さんをお迎え致してお届けします。

ビゼーの「交響曲第1番ハ長調」は、歌劇「カルメン」で名高いフランスの作曲家17歳の作品で、青春の瑞々しさが感じられ、ベートーヴェン「ピアノ協奏曲第5番皇帝」は、壮大なスケールと華やかな旋律が魅力の名作です。若き作曲家のエネルギーと巨匠の風格をお聴き比べ頂きたいと思います。オーケストラは、恒例の木野雅之さん(現日本フィル・ソロ・コンサートマスター)が率いるラスカ祝祭管弦楽団です。

尚、このコンサートの入場料の一部は、地域の文化向上のため平塚市文化振興基金に寄付させていただきます。

※「ラスカ祝祭管弦楽団」は、国内主要オーケストラの首席奏者やソリストで構成され、ラスカのチャリティコンサートのためにご集まりいただいております。

2025年 **6月22日** 日 14:00開場 / 15:00開演  
**ひらしん平塚文化芸術ホール大ホール**

〒254-0045 神奈川県平塚市見附町16-1 <https://hiratsuka.hall-info.jp>

チケットお取り扱い

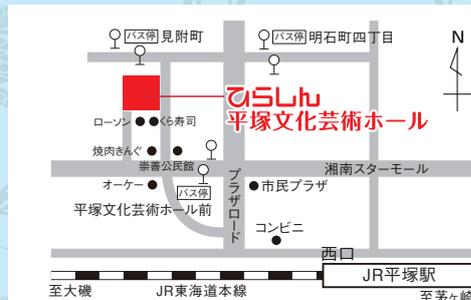
入場料:2,000円(全席指定)

e+ イープラス  
<https://eplus.jp>



ひらしん平塚文化芸術ホール(チケット窓口)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。  
 ※車椅子席は、ひらしん平塚文化芸術ホールでの販売となります。



※専用駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。  
 [電車でお越しの方] JR東海道本線「平塚駅」西口から徒歩8分  
 [バスでお越しの方] 神奈川中央交通「平塚文化芸術ホール前」から徒歩2分または、神奈川中央交通「見附町」から徒歩4分

## 出演者プロフィール



指揮 広上 淳一

Junichi Hirokami – Conductor

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロンバス響のポストを歴任。フランス国立管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、コンサートヘボウ管、モンテリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響、サンクトペテルブルク・フィルなどへ客演を重ねる。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一、京都コンサートホール館長。また、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。



ピアノ 阪田 知樹

Tomoki Sakata – Piano

2016年フランス・リスト国際ピアノコンクール第1位、6つの特別賞。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクール第4位入賞。東京芸術大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学大学院ソリスト課程に在籍。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、聴衆賞等5つの特別賞、クリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンゲン国際ピアノオリンピックでは日本人初となる第1位及び聴衆賞。国内はもとより、世界各地20ヵ国以上で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。2015年CDデビュー、2020年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。阪田知樹ピアノ編曲集「ヴォカリーズ」を2022年5月に、「夢のあとに」を2023年7月に、阪田の作曲した「アルト・サクソフォンとピアノのためのソナチネ」が23年11月に音楽之友社より出版。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、2023年第32回出光音楽賞、第72回神奈川文化賞未来賞、第20回ベストデビュタント賞を受賞。



コンサートマスター 木野 雅之

Masayuki Kino – Concert Master

桐朋学園を経て、1982年ロンドンのギルドホール音楽院に学び、名匠イフラ・ニーマン教授に師事する。音楽院卒業後、ナタン・ミルシュタイン、ルッジーエロ・リッチ、イヴリー・ギトリス等3人の巨匠に師事し研鑽を積む。

1984年、ロンドンにてカール・フレッシュ国際ヴァイオリン・コンクール最高位を獲得、W.H.スミス賞と聴衆賞を受賞。85年、パリ・メニューイン国際コンクールでサロン音楽特別賞を受賞。87年には『ロイヤルオーケストラ協会シルバーメダル』を授与され、ロンドンにて記念演奏会を行った。

93年4月より日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターに、02年7月よりソロ・コンサートマスターに就任。

東京音楽大学教授、桐朋学園大学、武蔵野音楽大学講師、インドネシアパダンパンジャン国立芸術院客員教授として後進の指導にあたっている。

使用楽器は恩師ルッジーエロ・リッチから譲り受けた1776年製ロレンツォ・ストリオーニ。

## ラスカ祝祭管弦楽団

Orchestra

1992年よりラスカのチャリティコンサートのためにお集まりいただき、コンサートマスターは木野雅之さん(現日本フィル・ソロコンサートマスター)が務め、国内主要オーケストラの首席奏者やソリストによって構成されている。